

森の 未来都市 神戸

神戸には、市街地に近接した海と山、六甲山の北側に広がる田園・里山地帯など、豊かな自然環境があります。今、このかけがえのない財産を次世代につなぐため、みどりの「再生」と「創出」(森林・里山の再生／まちの緑化)を一体的に進めています。市役所内には部署横断の推進本部を設置。市民・企業・NPO・大学など多様な皆さまと協働しながら、自然と共に暮らす神戸の未来を築いていきます。

— 森の未来都市 神戸 —

Instagram

HP



取り組みの「4つの柱」

1 資源循環の仕組みづくり

森林・里山資源に新たな価値を見出し、地域の生業(なりわい)として成立させるための仕組みをつくります。

- ◎広葉樹資源循環推進事業
- ◎KOBE備長炭実証事業
- ◎有害鳥獣・外来生物対策
- ◎竹林対策、活用推進
- ◎古材活用プロジェクト

里山広葉樹林の管理・利用



里山広葉樹林を伐採し、家具材や薪など多様な利用を進めるとともに、伐採地の若木の再生を見届けます。この新たな資源循環の中で、市産材ブランド「KOBE WOOD」の製品が形になり始めています。

KOBE備長炭実証事業



神戸市内の森林・公園等のカシ類から高品質な備長炭の製造・販売を進めます。定期的な伐採により、長期の資源利用と緑の管理を両立させ、新たなKOBEブランドを創出します。

2 森林・里山に関わる人材の確保・育成

里山の持続的な管理体制を確立するため、農村地域の活性化を図るとともに、地域に根差した里山関連産業を育成します。

- ◎こうべ森と木のプラットフォーム
- ◎農地管理の省力化の推進
- ◎地域資源循環型農業の推進
- ◎だれでも農園事業
- ◎こうべため池再生プロジェクト
- ◎里山住宅の供給検討

だれでも農園事業



将来の担い手が明確になっていない農地等を、市民団体・大学・企業などがレクリエーション活動や実証試験などに活用できるようにします。多様な担い手の参画で、耕作放棄地の増加防止につなげます。

こうべため池再生プロジェクト



市内にある農業用ため池を次代につないでいくため、フィールド調査や分析等を通じて、神戸らしいため池の魅力や、持続可能な活用方法を検討します。

3 森林・里山との関係性の再構築

自然との関わりを身近に感じられる機会を創出し、希薄化した森林・里山と人との関係性を再構築します。

- ◎里山に親しむ人材交流拠点の整備
- ◎地域交流の促進
- ◎森林整備活動への支援
- ◎神戸登山プロジェクト
- ◎30by30(サーティ・バイ・サーティ)の推進
- ◎淡河町親水空間整備、道の駅淡河の駐車場拡張
- ◎木育を通じた地域活性化

里山に親しむ人材育成拠点整備



里山管理の担い手を育成するとともに、「里山の風景」を身近に学ぶことができる拠点を整備し、多様なプレイヤーの参画を促進します。

木育を通じた地域活性化・地域交流促進事業



地域プレイヤーとの協働を通じて、森林資源に親しみを持ってもらうとともに、子ども達の健やかな成長を促す「木育」を推進します。

4 緑化による豊かな都市空間の形成

良質な緑を整備し、人と人がつながる憩いの場や快適な都市空間を創出します。

- ◎こうべ木陰プロジェクト
- ◎公園樹林環境改善
- ◎公園樹木・街路樹の有効活用
- ◎街路樹の再整備
- ◎都市部(ポートアイランド、ウォーターフロント、駅前広場等)の緑化
- ◎遊休地の緑化による有効活用

こうべ木陰プロジェクト



夏の極端な暑さに対応するためには、気温だけでなく日射や照り返し、湿度にも配慮が必要です。市街地への植栽を増やすとともに、既存の樹木をしっかりと育て、木陰づくりを進めます。

都市部の緑化(ポートアイランド)



ポートアイランド(第2期)では、暑さを和らげ、安らぎの場となる木陰を広げるため、中央緑地軸や街路の緑化を進めています。これらの取り組みを通じ、エリア全体の賑わいや環境向上につなげます。